

YA 通信

No.71 2016年9月号
春日井市図書館発行

YA(ヤングアダルト)世代=10代のみなさんのための読書情報誌です。ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階YAコーナー所蔵です。

YAコーナーに新しくいった本からピックアップ。



『Q→A』草野 たき/著 講談社 913/コウ/16

高校受験が近づいてきた中学3年生の5人が、学校や塾、雑誌などのアンケートに悩みながら答えていきます。建前なのか本音なのか・・・実際に書いた回答の裏側にある、とまどいや悩みなどが語られています。ひとりずつのアンケートを取り上げていますが、それぞれに、ほかの子も登場してきます。また、あの時はこう答えたけど、今ならこう答える！といった心境の変化も。アンケートを通して、自分の本当の気持ちに気づいていくお話です。



名作たからばこ



『君たちはどう生きるか』吉野 源三郎/著 ポプラ社 15/キ/00

3階児童

「君たちはどう生きるか」。こんな直球のタイトルの本、どうなの！？とってしまいますよね。しかし、ぜひ手にとって下さい。この本は、コペル君というあだ名の少年が体験したことと、コペル君のおじさんによる「おじさんのノート」で構成されています。いじめ、貧困、世界平和……現代にも通じる様々な問題提起がされています。ただ熱い言葉で読者を鼓舞しているのではない。「世の中ってこういうもの！」とバツサリ断言してもいい。偉大な功績を残した人物にも批判の目を向け、社会や人間の矛盾を認める。それでもなお、「どう生きるのか」と問いかけているのです。読んだ後は、この問いに真正面から挑みたくなるはずです。

食

とつぜんですが皆さんは、秋と言えば『食欲の秋』ですか？それとも『読書の秋』ですか？どっちかなんて選べない、そんな方のために今回は食についての本を紹介しますよ。



『禁断のレシピ』 枝元 ほなみ, 多賀 正子/著 NHK出版 596/キ/14 3階一般

「マッシュポテトは飲み物」とか「パンって半分空気食べてるみたい」なんて名(迷?)言もとびだすこの本は、料理研究家の2人が量もカロリーも気にせず、おいしく作ることに集中して考えたレシピ集です。チーズを430g使ったフランスパン1本サンドイッチ(3460kcal)、板チョコを8枚使ったトリプルチョコレートケーキ(6910kcal)など、高カロリーなものばかり。そんな料理を見ていると、620kcalのパフェが低カロリーかもしれないなんて思えてきませんか？

季節は秋、おいしいものをおなかいっぱい食べたくってしまう禁断のレシピがいっぱいです。

『負けないパティシエガール』 ジョーン・バウアー/著 灰島 かり/訳

小学館 93/シヨ/13

読み書きが得意ではない女の子フォスターの夢は、パティシエガールになること。フォスターはある日、ママと家を出て新しい町で生活することになります。フォスターが作り出すカップケーキはどれもおもしろそうで、食べる事ももちろんですが、自分で作って誰かに食べてもらいたくなる1冊です。



『インド・カレー紀行』 辛島 昇/著 大村 次郷/写真 岩波書店 38/イ/09

インドのカレー、どんなイメージを持っていますか。銀色の器に入ったカレーを、フカフカのナンにつけて食べる、というところでしょうか。実際は、もっと奥深くバラエティに富んでいるのです。この本には、著者が今までインドで食べてきた各地の料理が、歴史や人々の生活、社会構造と共に紹介されています。カレーの語源とは？カレーのルーはイギリス人が作ったものだった！？ヨーグルトとスパイスのおいしい関係とは？カレーを知るとインドが見えてくる！豊富なカラー写真と本場のレシピも多数掲載で、楽しく読める1冊です。



『描かれた食卓 名画を食べるように読む』 磯辺 勝/著 NHK出版 720.4/エ/07

4階一般

絵画には食事の場面が描かれていることが多いですね。食事シーンは生活感や家族・仲間を表現しやすいですし、祭やパーティー、会合を開く際の特別感を出すのにも一役買う便利なアイテムです。この本は様々な絵に描かれた食事の様子から、当時の生活様式や絵画の技術、作者のバックボーンなどが語られています。絵画にはこのような見方もあるのかと感心するでしょう。惜しむらくは、カラーで掲載されている絵が少ないので、気に入った絵があったら是非探して現物を見てみるのもいいかと思えますよ。



ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会さん)

『海竜めざめる』 ジョン・ウィンダム/著 星新一/訳 福音館書店

93/フク/09



知ってる人は知ってる？SF小説の金字塔的古典小説『海竜めざめる』をご紹介します。内容は、宇宙からの侵略に対し地球人がいかに抗っていくか、というもの。ハリウッド映画で次々と製作されてきた大河SF(『インデペンデンス・デイ』とか『ディープインパクト』とか)の原点ともいえます。ハリウッドと異なる点は絶対的なヒーロー、ヒーラーが存在しないこと。そこがむしろ私たちにはより身近に感じられ、先の見えない恐怖に震撼するのだと思います。発表当時の東西冷戦状況も今読むことで再考させられます。

1953年に発表された本作品が、星新一&長新太という現代のYA世代ご存知の作家により一層読み易くなっています。ご一読を！

話のタネに！



2016年7月。トルコ・イスタンブールで行われたユネスコの世界遺産委員会にて、日本の国立西洋美術館(東京・上野)の登録が決定しました！！

これは、ル・コルビュジエ建築作品に贈られるもので、日本を含め7カ国17資産が今回登録されました。

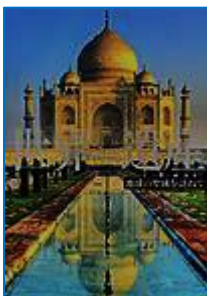
そこで今回は、コルビュジエ氏に関する本と世界遺産に関する本を紹介します。



『もっと知りたいル・コルビュジエ 生涯と作品』 林 美佐/著 東京美術 523.3/モ/15

4階一般

コルビュジエ氏の建築作品はもちろんのこと、幼少期の写真なども掲載されています。国立西洋美術館の他に今回登録が決定した建物の中の数作品もカラーで載っているので、どんな建築作品があるのか見るだけでも学べる本です。



『世界遺産 地球の聖域を訪ねて』

マルコ・カッターネオ, ジャスミーナ・トリフォーニ/著 上原昌子 他/訳 ポプラ社

709/セ/15 4階一般

各国の世界遺産が写真とともに載っていて、表紙は世界でもっとも美しいと言われる霊廟『タージマハル』！！表紙だけでもとても美しい。そして日本の世界遺産はもちろんのこと(これに国立西洋美術館は掲載されていません)、世界の美しく神秘的な世界遺産の数々は本を見ただけでも感動ものです。



YA担当イチオシ!

『アレの名前大百科』

みうらじゅん/監修 PHP 研究所 031.8/ア/10

どんな本?

みかんを剥くについている白いすじとか、爪の付け根にある丸っぽい模様とか、ジーンズのポケットにあるより小さいポケットとか、その他良く見るんだけどうまく説明できない、「アレ」としかいえないような物の名称が載っています。

ここがオススメ!

正式名称はわからない、説明しようにも長くなったりうまく説明できなかつたりで、結局「アレ」で終わらせてしまうものってありますよね。正直、名前を知らなくても困りはしないし、いつもはほうっておくんだけど、何かの拍子に思い出してモヤモヤとした気持ちになること、よくあるんじゃないですか?

この本はそんな「アレ」についての名前が沢山載っています。あまり役にはたたないと思いますが、なんとなく楽しい、そんな一冊です。

ちなみにインターネットでうまく説明できないものを調べるときは、携帯などで取った写真を画像検索にかけると結構すぐ見つかりますよ。

YA(ヤングアダルト)コーナーって?

図書館3階雑誌コーナーのとなりです。たとえば、こんな本があります。



- ◎10代向けの小説・読み物
- ◎勉強・進路・職業に関する本
- ◎いろんな悩みの解決に役立つ本
(学校生活・友だち・恋愛・家族・心と体 など)
- ◎自分の世界を広げるための本(趣味やスポーツ)

「〇〇について調べたい!」
「△△の本はどこ?」など、
本に関する相談や探し物は
職員に気軽に聞いてみてね。

春日井市図書館

春日井市鳥居松町 5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.lib.city.kasugai.aichi.jp/>

ケータイサイトはQRコードから→

